

<p>学校における部活動の方針</p>	<p>部活動は、生徒の自主性や個性を伸ばさせる上で重要な役目を果たしており、学年を超えた好ましい人間関係を築く絶好の機会でもある。その意義を積極的に評価しながら、本校の学校経営計画を踏まえ、「生徒にとって望ましいスポーツ環境を構築する」、「生徒の自主性、自発性を促すよう指導する」という観点に立ち、以下の方針を掲げる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育むべく、学習活動と部活動との両立を図る。 ② 部活動は、生徒の自主的・自発的な参加により、合理的かつ効率的・効果的に取り組む。 ③ 部活動の運営に当たっては、顧問や部活動指導員の指導の下、安全の確保を行う。
<p>休養日等の設定方針</p>	<ul style="list-style-type: none"> ① 学期中は、週当たり原則2日以上以上の休養日を設ける（平日は少なくとも1日、週休日は少なくとも1日を休養日とし、その確保ができない場合は、他の日に振り替える）。 ② 長期休業中の休養日の設定についても、「①」に準じた扱いを行う。また、生徒が十分な休養を取ることができるとともに、運動部活動以外にも多様な活動を行うことができるよう、ある程度長期の休養期間（オフシーズン）を設ける。 ③ 下校時刻 16 時 50 分を過ぎて活動を行う場合は、担当教員が「居残り団体記入簿」に記載する。ただし、その場合の完全下校時刻を 18 時 30 分とする。なお、定期考査一週間前及び考査中の活動は原則禁止。ただし、公式戦が期間中もしくは直後にあり参加する場合は、顧問の了承を経て、その活動を認める。 ④ 1日の活動時間は、原則長くとも学期中の平日では2時間程度、週休日・祝日・長期休業日中は3時間程度とし、できるだけ時間内に、合理的かつ効率的・効果的な活動を行う。
<p>設置されている運動部活動名</p>	<p>アウトドアライフ部、ラグビー部、サッカー部、硬式テニス部、陸上競技部、バスケットボール部、バドミントン部、バレーボール部、剣道部、硬式野球部、柔道部、水泳部、卓球部、ダンス部</p>
<p>設置されている文化部活動名</p>	<p>科学研究部、MCG 部、ロボット部、演劇部、機械工作部、写真部、調理科学部、囲碁・将棋部、吹奏楽部、茶華道部、園芸部、レゴ競技部、鉄道研究部、魚類研究同好会、美術愛好会、奇術愛好会、(スーパープロジェクト)</p>
<p>活動計画</p>	<p>【別紙 活動計画】のとおり</p>